旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２２年９月１８日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	讃美歌520「静けき河の岸辺を」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	讃美歌239「さまよう人々」	一　同
教会学校	「マントをひるがえして」	牧　師
讃　　美	讃美歌514「弱き者よ我にすべて」	一　同
聖書朗読	エゼキエル8:1-4	
奨　　励	エゼキエル書の福音(第3回)	牧　師
主　　題	**「バビロンの川のほとりで」**	
讃　　美	讃美歌355「主をあおぎ見れば」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	讃美歌541「父、御子、御霊の」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	**エゼキエル書第 12 章**	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
９/18(日)聖日礼拝
/19(月)敬老の日
/20(火)
/21(水)10-12:OBSｸﾗｽ　13:牧祷会
/22(木)10:祈会　13:ｳﾞｨﾚｼﾞ集会
/23(金)秋分の日
/24(土)13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちが救われますように

「契約の箱とケルビム」(復元品)

良書ハイライト

「国交断絶の危機に」
(「幸いな人」2022/9/12)

外交官だった都倉栄二氏は、1970年にイスラエル全権大使として赴任することになりました。宗教的な雰囲気の中で、都倉氏は求道心を持つようになり、クリスチャンだった奥様の奨めでヨルダン川でバプテスマを受けてクリスチャンになりました。

赴任して２年経った1972年５月30日、都倉氏が結婚記念日を祝った後の深夜、けたたましく電話が鳴りました。ロッド空港で銃乱射事件が起こり、多数の死者が出て、犯人はどうも日本人らしいとのことでした。日本政府は事実関係を確認して協議した後に訓令を出すので、それまで待機するようにとの指示が出されました。その間、大使館に脅迫の電話が何度もかかってきました。激怒したイスラエル国民は「国交断絶せよ」と町で叫んでいました。奥様が「ごめんなさい」とつぶやきながら涙している姿を見て、都倉氏は政府の訓令なしに謝罪する決断をします。テレビ局に連絡を入れて、謝罪文をヘブル語に翻訳してもらい、苦悩の中で謝罪しました。日本人の同胞の無分別な行動で、多くの犠牲を出したことを詫びるうちに涙が止まらなくなってしまいました。

謝罪を聞いたメイヤー首相は「この事件で、日本民族とイスラエル民族との敵対関係を作りだしてはならない。国交断絶という誤った結論を出すことを私はしない。」と言い、犠牲者の葬儀に都倉氏も参列が許されました。都倉氏の心からの謝罪が、悲劇からの断絶を修復したのです。